

【審査委員会が評価した事項】

審査項目（中項目別）	川崎技研グループ	日立造船グループ
1 事業全体の基本的内容に関する事項		
(1) 本事業の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本事業の実施目的を踏まえた方針等 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本事業の実施目的を踏まえた方針等
(2) 本事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 設計・建設業務から運營業務に至るまでの代表企業による一貫した総括管理 ▪ 地元企業とのコラボレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ プロジェクトマネージャーを配置したマネジメント ▪ グループが保有する類似事業における多数の実績 ▪ 国内最大手プール運営企業のノウハウ活用 ▪ 第三者による客観的なモニタリング
2 設計・建設業務に関する事項		
(1) プラント設計	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 高効率ストーカの採用 ▪ 幅広いごみ質への対応策 ▪ 階数による収集車と直接搬入者の分離 ▪ 熱しゃく減量の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 幅広いごみ質への対応策 ▪ 階数による収集車と直接搬入者の分離 ▪ ダンピングボックスの増設 ▪ 熱しゃく減量の低減
(2) 建築設計	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 建築材料におけるフッ素系材質の選定 ▪ 管理・啓発施設内における災害用の備蓄倉庫の設置 ▪ 多種の浴槽 ▪ 内外装材に対する天然素材の採用 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 建築材料におけるフッ素系材質の選定 ▪ 管理・啓発施設内における災害用の備蓄倉庫の設置 ▪ 埼玉県内初の健康浴槽の設置 ▪ 多種の浴槽 ▪ 地元製品の販売コーナーの設置
(3) 景観・配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ▪ アースカラーによるストライプを基調とした施設デザイン ▪ 空と雲に融合する煙突の色彩デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 躍動感とやわらかさをイメージさせる曲線を取り入れた施設デザイン ▪ 高木の配置による建物の威圧感の低減

審査項目（中項目別）	川崎技研グループ	日立造船グループ
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 計量機前における待車スペースの確保 ▪ 盛土による洪水対策 ▪ みどりのネットワークをイメージした景観デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 前面道路からの視線に配慮した煙突配置 ▪ 計量機前後における待車スペースの確保 ▪ 「太陽の家」で長く親しまれてきた大ケヤキの移植 ▪ 将来のサイクリングロードとの連携
(4) 環境啓発、来場者対応	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 分かりやすさと施設見学の補完性を兼備した説明設備 ▪ 社会科見学に対する要望反映 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 富士山の遠望が楽しめる展望ホール ▪ 体感を主眼においた見学者設備 ▪ 充実した環境学習プログラムの提案 ▪ 各種イベントの開催
(5) 環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 工場棟における十分な臭気対策 ▪ 施設の運営に係るCO₂負荷の低減 ▪ 光触媒舗装による窒素酸化物除去 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 工場棟における十分な臭気対策 ▪ 施設の運営に係るCO₂負荷の低減 ▪ 節水型設備の採用 ▪ 光触媒舗装による窒素酸化物除去 ▪ 最終処分量の低減を目的とした設備の導入
(6) 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 非常食及び飲料水の備蓄 ▪ 洪水対策を目的とした計画地盤高の設定 ▪ 2階以上における非常用発電機と防災用発電機の設置 ▪ 避難場所としての居室利用 ▪ 防災拠点としての施設の位置づけ ▪ 災害ごみの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 非常食及び飲料水の備蓄 ▪ 協力企業との災害時支援協定 ▪ 災害時における非常用発電機電力を活用したごみの受入 ▪ 洪水対策を目的とした計画地盤高の設定
(7) 高効率ごみ発電	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 要求水準書を上回る発電効率の達成及び発電量の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 要求水準書を上回る発電効率の達成及び発電量の確保

審査項目（中項目別）	川崎技研グループ	日立造船グループ
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本事業の参加要件を満たす高効率ごみ発電施設に関する設計・建設実績 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 発電量の安定化 ▪ 本事業の参加要件を満たす高効率ごみ発電施設に関する多数の設計・建設実績
(8) 施工計画	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 低公害型重機の採用 ▪ 騒音・振動に係る厳しい自主管理値の設定 ▪ 透明パネル仮囲いによる工事進捗の可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 低公害型重機の採用 ▪ 騒音・振動に係る厳しい自主管理値の設定 ▪ 工事見学広場の設置による工事進捗の可視化 ▪ 「太陽の家」の休止期間短縮
3 運営業務に関する事項		
(1) 運転管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 2炉運転の最大化 ▪ 負荷率調整によるごみ量変動への対応 ▪ 小型計量機の採用による計量回数の低減 ▪ リーフレットを活用した直接搬入者への丁寧な説明 ▪ リモート監視システムによる運転管理支援 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 多様な教育訓練による運転技術の向上 ▪ 2炉運転の最大化 ▪ 負荷率調整によるごみ量変動への対応 ▪ 小型計量機の採用による計量の円滑化 ▪ 防災訓練の実施 ▪ 焼却残さ及び資源化物に対する分析頻度の上乗せ ▪ 総合運営支援システムによる運転管理支援
(2) 維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ プラント運営企業の維持管理データの活用 ▪ 引渡し計画書の作成 ▪ 引渡し2年間の運転指導及び15年後までの維持管理補修の提案 ▪ 外構類の定期的な清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 35年間の施設稼働を前提とした維持管理計画の策定及び設計上の配慮 ▪ 実績に基づく施設能力の維持 ▪ 引渡し前の機能回復 ▪ 引継ぎマニュアルの作成 ▪ 引渡し後における3年間の技術者派遣 ▪ 引渡し後1年間の性能保証

審査項目（中項目別）	川崎技研グループ	日立造船グループ
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 外構類の定期的な清掃
(3) 環境管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 焼却飛灰、飛灰等安定化物の放射能分析 ▪ 第三者機関を活用した各種分析 ▪ 一部の運営期間における要求水準書を上回る頻度での測定の実施 ▪ 測定データの公表による施設の安全性の周知 ▪ 地域産業保健センターを活用した作業員の健康管理 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 排ガスの測定項目として水銀の追加 ▪ 第三者機関を活用した各種分析 ▪ 全ての運営期間における要求水準書を上回る頻度での測定の実施 ▪ 環境モニタ設置数の増加及び同設備を活用した排ガス等の公害測定値の公表 ▪ 石綿粉じんの測定
(4) 余熱利用施設の管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 運営企業の有するノウハウの活用 ▪ 各種イベントの開催 ▪ 割安な回数券の販売やスタンプラリー等の実施 ▪ イベント情報の発信及び運動公園利用者に対する駐車場開放による集客力向上 ▪ 送迎バス運行の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 運営企業の有するノウハウの活用 ▪ 多数のイベントの開催 ▪ イベントの誘致と地元企業及びメディアとの連携による集客力向上 ▪ 地域活性化につながる物販事業 ▪ コミュニティガーデンにおける野菜栽培
(5) ふじみ野市との協働	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本市への報告、連絡及び調整を目的とした協議会等の開催 ▪ 本市及び地元団体と協働によるイベント開催 ▪ 年1回の防災訓練 ▪ 社会科見学の充実 ▪ 出張説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本市の報告、連絡及び調整を目的とした協議会等の開催 ▪ 本市が推進しているサイクリングイベントの普及 ▪ 年2回の防災訓練の開催 ▪ サイクリングツーリズムによる地域活性化の支援
4 事業計画に関する事項		
(1) 長期収支の安定性	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 資本金における充実した予備費の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 資本金における充実した予備費の設定

審査項目（中項目別）	川崎技研グループ	日立造船グループ
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 不足の事態が生じた場合のバックアップ体制 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 不足の事態が生じた場合のバックアップ体制
(2) リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 保険アドバイザーを活用した保険の設定 ▪ リスク管理委員会によるリスク管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 保険アドバイザーを活用した保険の設定 ▪ 非常事態対応のための事業継続計画策定
(3) 地域や社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 積極的な地元企業活用 ▪ 地元人材の優先雇用と人材育成 ▪ 地域や社会への具体的な貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地元企業への優先発注 ▪ 地元人材の優先採用及び具体的な活用方策 ▪ 地域や社会への具体的な貢献